

令和6年度第1回春日井市観光によるにぎわい創出推進会議議事録

1 開催日時 令和6年6月7日（金）午後1時30分～午後4時30分

2 開催場所 春日井市役所 10階 1002会議室

3 出席者

【会 長】名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授	佐藤 久美
【副会長】中部大学経営情報学部経営情報学科 教授	趙 偉
【委 員】中部圏インバウンドセールスプロジェクト 事務局長	赤崎 真紀子
春日井商工会議所 事務局長	鈴木 夕雪
春日井市観光コンベンション協会 ゼネラルマネージャー	林越 宏治
【事務局】産業部 部長	勝 伸博
経済振興課 課長	加藤 哲也
課長補佐	柳田 一哉
主査	柴田 知宏
主任	渡邊 優気

【傍聴人】 1名

4 議題

- (1) 令和5年度春日井市観光によるにぎわい創出事業補助金実績について
- (2) 春日井市観光によるにぎわい創出基本計画に基づく取組状況について
- (3) 春日井市観光によるにぎわい創出基本計画に基づく推進の方向性について
- (4) 令和6年度春日井市観光によるにぎわい創出事業補助金審査

5 会議資料

次第・委員一覧・配席図

資料1 令和5年度春日井市観光によるにぎわい創出事業補助金実績について

資料2 春日井市観光によるにぎわい創出基本計画に基づく取組状況

資料3 春日井市観光によるにぎわい創出基本計画に基づく推進の方向性

資料4 令和6年度春日井市観光によるにぎわい創出推進事業補助金審査について

資料5 審査スケジュール

資料6 事業提案審査表

6 議事内容

議事に先立ち、配布資料の確認等を行った。

なお、令和5年度第1回の会議において、会議の公開については基本的に公開とし、観光によるにぎわい創出事業補助金の審査のみ、申請者からの提案内容を公にすることにより、当該法人等の権利や競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるため、春日井市情報公開条例第7条第3号のアに該当することから、非公開とすることに決定している。よって、議題(4) 令和6年度春日井市観光によるにぎわい創出事業補助金審査については非公開とする(資料4、5、6についても議題(4)に関するものであるため、非公開)。

(1) 令和5年度春日井市観光によるにぎわい創出事業補助金実績について

【事務局渡邊】 資料1に基づき説明。

(2) 春日井市観光によるにぎわい創出基本計画に基づく取組状況について

【事務局柴田】 資料2に基づき説明。

(3) 春日井市観光によるにぎわい創出基本計画に基づく推進の方向性について

【事務局柴田】 資料3に基づき説明。

議題(1)～(3)について、質疑応答を行った。

【赤崎委員】 感想だが、昨年観光によるにぎわい創出事業補助金の採択事業である氷屋川久のかすがい冰雪まつりのように、地元の事業者が積極的に関わって魅力を発信していこうという動きはとてもよいと感じている。だが、補助金があるうちは一生懸命やるが、なくなるとやめてしまうというケースがとても多いという話をよく聞く。いかに持続的に事業を行っていくかが重要だと感じている。

【佐藤会長】 補助がいつまでも続くわけではないし、あまり同じ事業者ばかりに補助をするのも好ましくないため、その後の事業者の自立を促す考えが大事。補助金を交付した事業はそれぞれ収益等で事業の運営を賄っていけそうか。

【事務局勝】 各事業、補助がなくなったとしても事業の収益等で事業費を賄うことができるかという疑問を感じている。持続的な事業にするにあたって、費用負担のあり方については避けては通れない要素だと思う。最初は民間からスタートして、その後市の事業になったわいわいカーニバルのように、市が予算を投じてでも実施していきたいという事業が本補助金を通じて創出できればと感じている。事業の持続的な実施ができるよう、市としてもフォローをしていけたらと考えている。

(4) 令和6年度春日井市観光によるにぎわい創出事業補助金審査

申請者からの提案内容を公にすることにより、当該法人等の権利や競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるため、非公開。

議題終了後、各委員から本会議を通じての意見や感想をいただいた。

【林越委員】 一過性のイベント等ではなく、継続的に観光で稼げるようなまちづくりをしていくのは簡単ではないと日頃から感じている。

【鈴木委員】 補助金のプレゼンテーションを聞いてみて、事前審査とは大きく評価が変わった。今回の審査を通じて改めて、愛岐トンネルやサボテンが春日井の観光資源だと感じた。また今後、おもしろい角度からの提案事業が出てくることを期待する。

【赤崎委員】 補助金が採択となった事業は、妥当だと感じる。
今後も補助金を継続していくにあたって、事業をビジネスとして展開するにあたりどのようなフォローをしていけるかというのが春日井市のミッションだと感じるので、うまくやっているとよいと思う。

【趙副会長】 補助金について、事前審査とプレゼンテーション審査で大きく印象が変わった事業があった。補助金がなくても事業を継続していけるかどうかが重要だと思っていたが、継続できないものは必ずしも意味がないかということそうではないと思う。

【佐藤会長】 「春日井を観光のまちにする」ということに対しては、もともと懐疑的な意見もあったが、しっかりとした基本計画を立てた。「もてなす」「伝わる」「つながる」といったカテゴリに分け、計画の取り組み状況をまとめた資料（資料2）はわかりやすかったと思う。

市もいろんなことに力を入れているし、一方で民間がイベントの企画や実施をしているということで、官民が一緒になって、市民が春日井市には磨けば光るものがあるんだということを見つけることが重要だと思う。それが外に発信されていくことで、観光のまちとして成長していくと思うので、この補助金はおもしろい取組だと感じる。補助額としてはそれほど大きなものではないが、補助を行うことで責任感も生まれるのでよい。

上記のとおり、令和6年度第1回春日井市観光によるにぎわい創出推進会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席委員のうち1名が署名する。

令和6年7月2日

会 長 佐藤 久美

署名人 趙 偉